

加盟校・加盟員・関係者の皆さまへ

2022年7月11日

関東学生ゴルフ連盟

感染対策委員会リーダー 金井毅

秋季（8月）以降の競技開催における感染対策についてのお知らせとお願い

平素より本連盟の運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

また本連盟の感染対策面で多大なご協力、ご対応を行なって頂き、心より感謝申し上げます。

さて、本連盟競技も関東学生、関東女子学生本選を皮切りに、いよいよ後半戦となる秋季対抗戦も8月18日より始まります。つきましては後半戦の感染対策において、いくつかお知らせとお願いがございますので、下記にお伝えさせていただきます。

*感染状況や政府、自治体、世情の対応変化などによって急な変更もあり得ることをご了承下さい

①秋季対抗戦はギャラリー入場を認めることとします（但し入場制限あり）

これまでの各加盟校、加盟員の皆さまのご協力により、大きなアクシデントなく、競技開催を遂行できた実績を鑑み、秋季男女各ブロック対抗戦においては、一定数のギャラリー入場を認め、その上で感染対策をしっかり行い、円滑な競技運営を進めて参りたいと思います。その内容としては、下記の通りです。

1、対抗戦ギャラリー入場数について（主務も含まれます） *まずは対抗戦のみ適用

1組（ワンドロー）あたり各校2名までとします。

例：男子Aブロックは最大シングルス戦が8組なので、1校2名×8組＝16名（主務含む）

女子ABブロックは5組なので、1校2名×5組＝10名（主務含む）がMAXのギャラリー入場数です。安全管理上、対抗戦期間は、基本、同じメンバーでいらして下さい。但し、諸事情（就職活動や冠婚葬祭など）で途中でのギャラリーメンバー入替は許容しますが、最小限に留めて頂けるよう、ご協力の程、宜しくお願い致します。

*学生理事からの希望がこの人数で、まずこれで実施し、実績を検証し徐々に増員していきたいと思

2, 入場するにあたって(検査のありかた含む)

ギャラリーも選手同様、ワクチン未接種者または2回目接種から8か月以上経過者は抗原検査を行なって頂き、陰性にて入場を認可します。また、体調管理チェックシートも提示・提出をお願い致します。

(詳細は、競技3~4週間前に発信する「感染対策要項」を必ず熟読して下さい)

★「**体調管理チェックシート**」は、発熱者、感染が疑われる者が出た場合、このチェックシートがあることで、病院・医師の診察を受ける際、大切な問診資料として役立ちます。

②「ワクチン接種状況リスト」更新データ提出のお願い

本年4月に「ワクチン接種状況リスト」をご提出頂きましたが、直近の7月現在の接種状況を把握できればと思っております。ご提出頂いた4月からは、3ヶ月以上経っており、その間、新入部員の加入や新たにワクチン接種を受けられた方も多数いらっしゃると思います。

その為にも、前回もご協力頂いたように、加盟員皆さんの状況把握が肝要となります。

現時点での接種状況を「ワクチン接種状況リスト」に記入して頂き、

7月26日(火)までに本連盟に提出をお願いしたいと存じます。 (メール、FAX可)

その際、大学一括でまとめて頂いての報告をお願い致します。 ※毎月提出済みの方も再度ご協力下さい

(書き方、用紙などは、前回4月と同様です。指導者の方もリストに記載をお願い致します)

* 提出後、新たに接種済みの加盟員がいる場合は、お手数ですが、追加でリストを順次、本連盟にご提出ください。(詳細お問い合わせは、事務局まで)

③試合前の「宿泊申請フォーム」の提出を任意とする(義務とはしない)

上記フォームも、これまでの各校指導者の方々や主将主務の皆さんのご協力により、円滑にアクシデントなく運用できている実績から、性善説の見地で8月競技より提出を義務とはせず、ガイドラインに則って、各校の責任者(指導者、主将主務、部内感染対策委員)管理のもと、適切に行って頂くかたちとしました。

但し、下記の点をご注意下さい。

1、感染対策上の問い合わせや、どう判断すべきか迷った場合、或はイレギュラー（ガイドラインに抵触する可能性がある）事項が発生する場合は、今まで通り「宿泊申請フォーム」を本連盟の感染対策委員会（学生感染対策委員宛て）に提出し、判断をあおいで下さい。

*その他、事前に確認しておきたい事柄などは、遠慮なく本連盟の感染対策委員会にご相談下さい。

2、ガイドラインを遵守せず、虚偽の報告や逸脱した行為が発覚した場合は、本連盟規約第13章（賞罰）第73条の適用となり得ます。

3、検査対象者が検査を行ない、その陰性の証明となるもの（写真、スクリーンショット、証明書など）は、不測の事態が生じた場合のことも考慮し、必ず個々に（或は部として）保存しておいて下さい。提示が必要な時に、保存されていない場合は、前述の規約適用となります。

④ 注意の呼びかけ と まとめ

最後に、ここ数日、都内及び首都圏の感染が再拡大しております。

先日（6月30日）行なわれた本連盟競技終了の3日後に、感染者（選手1名）の届出がありました。それによって、本連盟として、実態調査並びに最低限すべき対応をさせて頂きました。最終的には競技場でのクラスターや他の罹患者はいなかった為、大事には至らなかったですが、感染者は発熱や精神的な面で苦しみ、当該大学関係者含め周囲は少なからずざわつきました。

世情的には感染対策に対して「緩和傾向」ですが、一方で、感染された方に対して、その扱いは社会的に緩和されておられません。発熱してないか？濃厚接触者はいないか？チーム内外で他に罹患した者はいないか？集団感染による競技の中断や延期、一定期間の（自主）隔離の必要性、感染者本人の精神的ダメージ、後遺症など、おおよそ風邪やインフルエンザの扱いとは異なりません。

少なからず競技において感染者が発覚した場合は、知らんぷりして競技を続けることはできません。やはり、運営側、競技者側が一体となって協力し合い、競技で感染者を出さないよう対策を打つことは、まだまだ余儀なくされるところです。

(逆に言えば、競技場で感染者が発覚すると、競技運営そのものが、事実確認、救急措置、チームの濃厚接触者の退席判断などで中断せざるを得なくなり、難儀な状況となります)

そんな中、前述の通り、本連盟においても緩和するところは緩和し、それによって、**加盟校・加盟員皆さんの自主性に（ガイドライン遵守を）委ねる部分が増しました。**

今一度、強く意識して頂きたいのは、

「競技 2 週間前において、ガイドラインに則った生活を励行」して頂くことです。

*** 感染後の発症が平均 2～3 日と早くなっていますが、13 日後に発症した事例もございます**

逆に言えば、その生活様式を皆さんが励行して頂ければ、大きな感染の拡がりは押さえられ、**安心・安全な競技運営に繋がります。**

8 月以降の団体戦・個人戦においても大きなアクシデントなく、円滑な競技開催が出来ますよう、引き続き各校責任者の方々中心に感染対策へのご協力を、宜しくお願い申し上げます。

末筆ですが、猛暑に負けず、健やかな日々をお過ごし下さい。日頃からの感染対策へのご協力を、重ねて御礼申し上げます。